

# 小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 瀧嶋 克己



平成30年 2月号  
No. 520

## 小中一貫教育フォーラム 発表校！

校長 瀧嶋 克己



[大雪の次の日]

1月22日(月)は、南岸低気圧が関東地方を通過し予報通り広範囲で雪となりました。東京23区でも4年ぶりに大雪警報が発令され、帰宅時間によっては、大混乱の方もいらしたのではないのでしょうか。

さて、次の日は辺り一面雪景色。教職員は、早朝より子供たちを迎えるため、学校周辺の道路や校庭、昇降口の雪かきに追われました。

1時間目は、学校全体で時間を合わせ、学級活動として校庭でおもいきり雪遊びをしました。教員も外に出て、広い雪の校庭で子供たちと一緒に遊んでいました。雪だるまを作る子。追いかっこをする子。雪の上で寝そべて空を見上げる子。小学校の頃の思い出として心に残ることでしょう。

数日間、低温注意報が出るなど寒い日が続く、太陽が出て校庭の雪解けには、時間がかかっています。しばらくの間、休み時間は内遊びなど工夫しながら過ごし、状態がよくなるのを待ちます。道路も凍結している箇所がありますので引き続き注意を呼びかけていきます。

### ■小中一貫教育フォーラム

練馬区では、平成24年度より、小中一貫教育を進めています。本校は、旭丘中学校と旭丘小学校で一つのグループを形成しています。

6・3制を採用して以来、小学校は6年間で、中学校は3年間で教育し、課題解決を図ってきました。そのため児童・生徒の理解の仕方や指導方法など小学校、中学校の教員による相互理解が遅れました。いわゆる中1ギャップなどの問題に十分対応できていないという指摘は、このような課題からと捉えています。

1月22日(月)午後から練馬文化センターで今回九つのグループの発表があり、本校も実践を発表してきました。主な内容は以下の通りです。

- 小小交流会(6/6、6/29他、10/31)
  - ・授業
  - ・5年生移動教室など
- 3校合同の研究授業(12/1)
  - ・道徳
  - ・音楽
  - ・算数
  - ・外国語活動
- 6年生部活動体験(6/30)
- 6年生中学校授業見学・説明会(9/14)
- 中学校教員による乗り入れ授業
  - ・体育科教員が6年生陸上運動「短距離走」1時間指導(6/20)
  - ・英語科教員が6年生外国語活動の単元の一部を指導(複数回)
- リーフレットの作成・配布(3月頃)

引き続き、小中一貫教育の取組を通して児童にとっては中学校へのギャップを低くし、教師は相互理解を深めていきます。